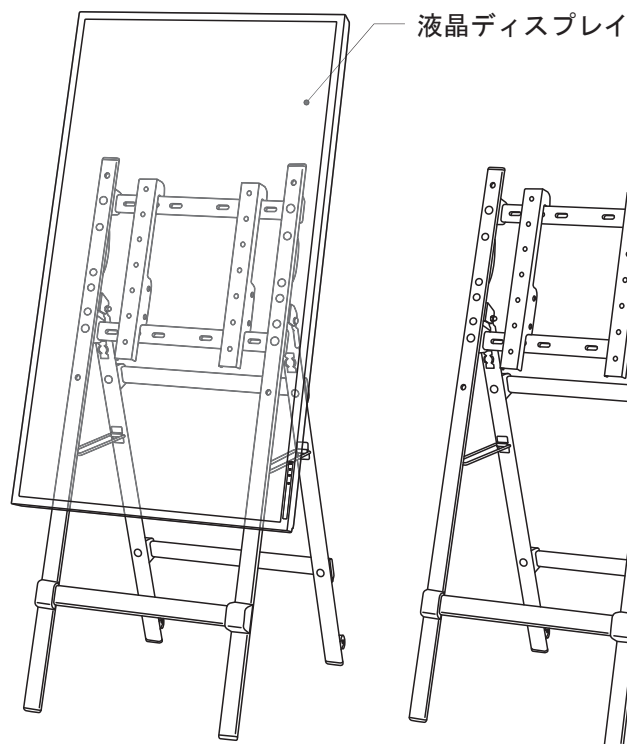


## 製品組立・取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。  
人体および財産への危害や損害を未然に防ぐため、  
本書をよくお読み頂き、内容をご理解された上で正しくご使用下さい。尚、本書は、ご使用の都度確認  
頂きたく必ず保管(最低10年間)しておいて下さい。

## ◎各部の名称



## 付属品一覧表

外観図	品名	数量
	M5六角レンチ	1本
	CAPボルト(M6×18) ※座金組込	4本
	穴埋めキャップ	4個
	取扱説明書(本書)	1部

## ご注意とお願い

- ⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。
- ⚠ この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

⚠ 危険防止の為、組立ての際は  
必ず2人以上での作業を行ってください。

- ⊘ この取扱説明書に記載されていない取り付けは、絶対に行わないで下さい。
  - ⊘ 本製品は重量18kg以下の液晶ディスプレイ(推奨ディスプレイサイズ:32型~50型)を対象とした製品です。それ以外のディスプレイは取り付けしないでください。
  - ⊘ ディスプレイを取り付けた状態で、屋外で使用しないでください。屋外でディスプレイを使用すると、故障の原因となることがあります。
  - ⊘ 本製品の改造・変更は行わないでください。ディスプレイや本製品の落下・転倒などによる破損・けがの原因となります。
  - ⊘ 壊れた部品を使用しないでください。ディスプレイや本製品の落下・転倒などによる破損・けがの原因となります。
  - ⊘ 本製品を傾斜した面、不安定な面に設置しないでください。ディスプレイや本製品の落下・転倒などによる破損・けがの原因となります。
  - ⊘ スタンド本体にぶら下がったり、寄り掛かったりしないでください。ディスプレイやスタンドの落下・転倒などによる破損・けがの原因となります。
  - ❗ 安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
  - ❗ 本製品を移動させる際は、スタンドを折りたたみ、転倒防止のため必ず2人以上で移動させてください。
  - ⊘ 本製品を移動又は向きを変える際は、スタンドを立てた状態で引き摺ったり回転させたりしないでください。
  - ⚠ 移動の際はディスプレイの電源コードをコンセントから抜いてください。段差のある場所、凸凹のある場所で本製品及びディスプレイに衝撃が加わらないよう注意してください。
  - ❗ この商品の取り扱い内容につきましては、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせいただき、ご理解された上でお取り扱いください。
- 記載事項を守らなかった際の不具合につきましては、責任を負いかねる場合がございます。あらかじめご了承ください。

株式会社 **ファースト**

本 社 〒468-0015 名古屋市天白区原1丁目815番地 TEL 052-803-6131 FAX 052-802-7131

http://www.comabo.jp ✉ comabo@first-sp.com

検  
印

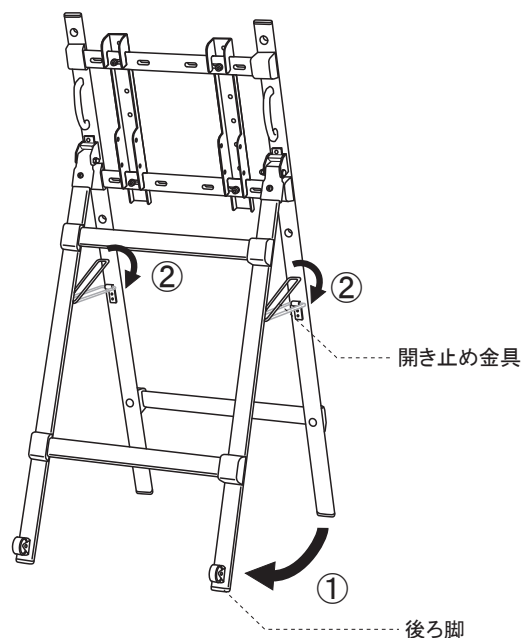
**⚠ 作業を始める前に…**

本製品は転倒防止のため、常に平らな場所でご使用ください。

**1、スタンド本体を設置する**

スタンド本体を箱から取り出し、①後ろ脚を開き、②開き止め金具を引っ掛けます。(図1)

図1



ご使用の際は、必ず開き止め金具を引っ掛けた状態で使用してください。転倒の原因となります。

**2、ディスプレイをスタンド本体に取り付ける**

**【取り付け方法 ①】**

**32型、43型(取り付け穴ピッチ: 200×200) の場合**

1. 矢印の4カ所のCAPボルト(M6×25)を外し、スタンド本体からディスプレイ取付金具を外します。(図2,図3)



付属のM5六角レンチを使用

図2

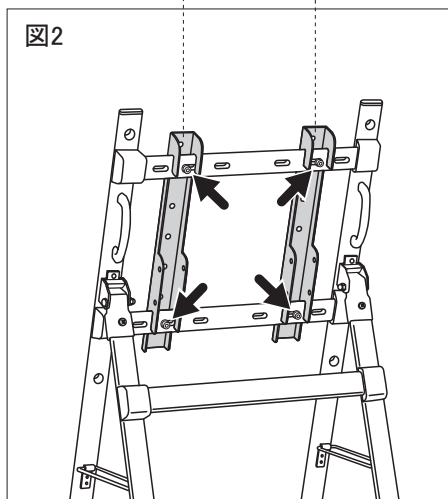
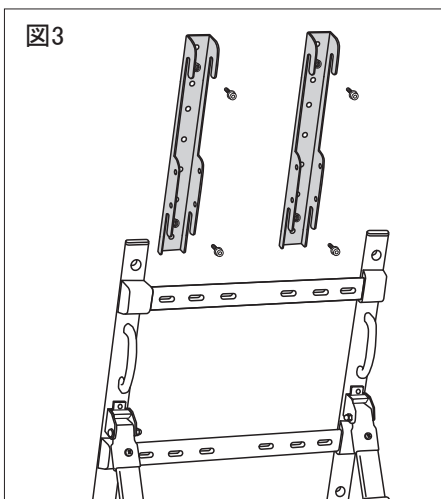


図3



2. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、ディスプレイの液晶面を下向きに置きます。
3. ディスプレイ取付金具をディスプレイのネジ穴に合わせ、付属のCAPボルト(M6×18)でディスプレイ背面に固定します。(図4,図5)

 付属のM5六角レンチを使用

図4【ヨコ向き設置の場合】

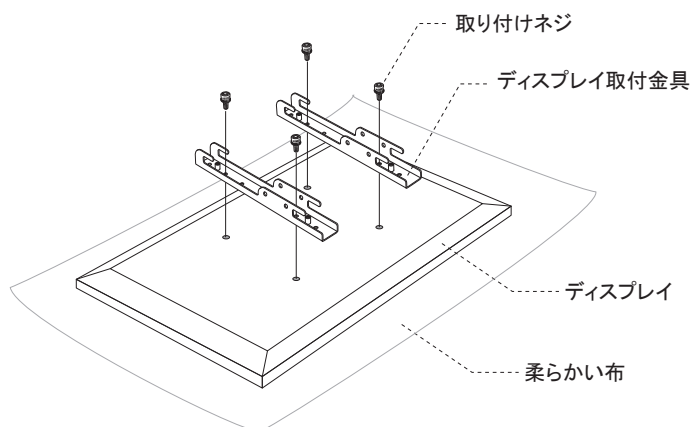
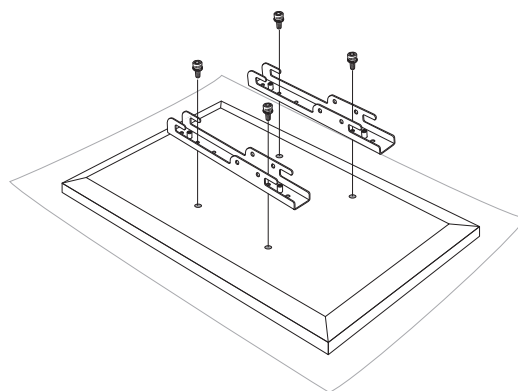


図5【タテ向き設置の場合】



- ❗ 全ての取り付けネジを仮止めした後、本締めして下さい。
- ❗ ディスプレイをタテ向きで設置する場合は、ディスプレイメーカーが指定する回転方向に従ってください。

4. スタンド本体の2本の渡しバーにディスプレイ取付金具を引っ掛けます。(図6)
5. スタンド本体の中心とディスプレイの中心の位置を揃え、はじめにディスプレイ取付金具を固定していたCAPボルト(M6×25)を使用して、背面から固定します。(図7)

図6

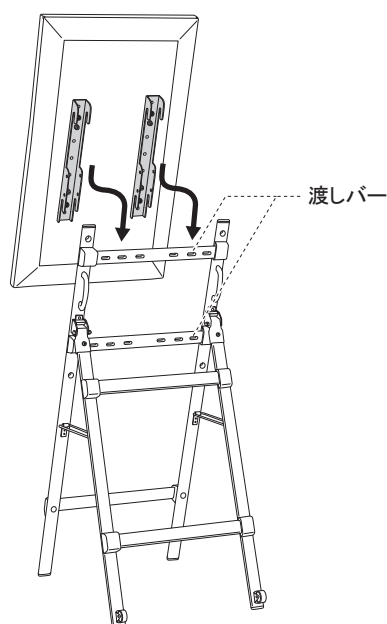
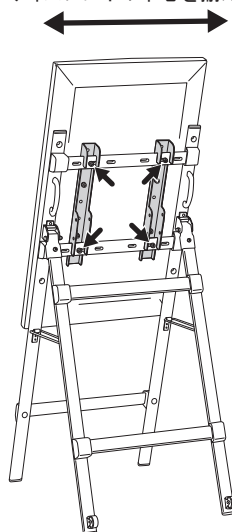
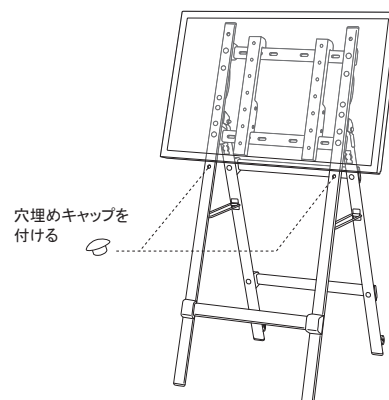


図7

ディスプレイの中心を揃える



32型ディスプレイをヨコ向きに取り付けた際にスタンド本体の柱に開いた穴が前から見えてしまう場合がございます。その際は、付属の穴埋めキャップをご使用ください。



## 【取り付け方法 ②】

### 50型(取り付け穴ピッチ: 400×400)の場合

1. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、ディスプレイの液晶面を下向きに置きます。
2. ディスプレイ背面に直接スタンド本体を乗せ、図の4ヶ所を付属のCAPボルト(M6×18)でディスプレイ背面に固定します。(図8,図9)



付属のM5六角レンチを使用

図8【ヨコ向き設置の場合】

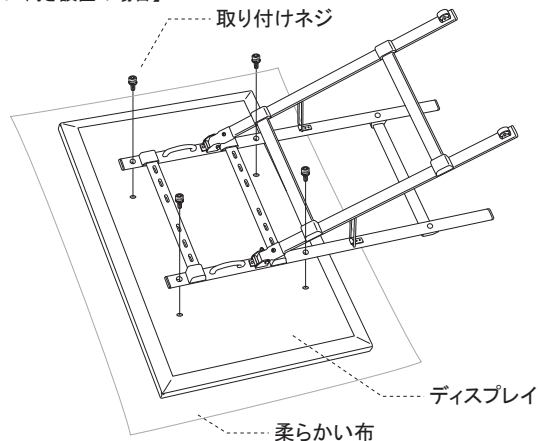
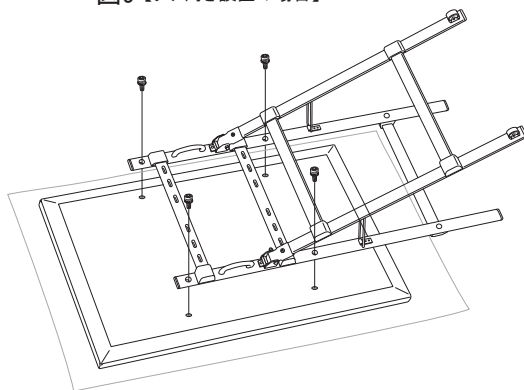


図9【タテ向き設置の場合】



全ての取り付けネジを仮止めした後、本締めして下さい。

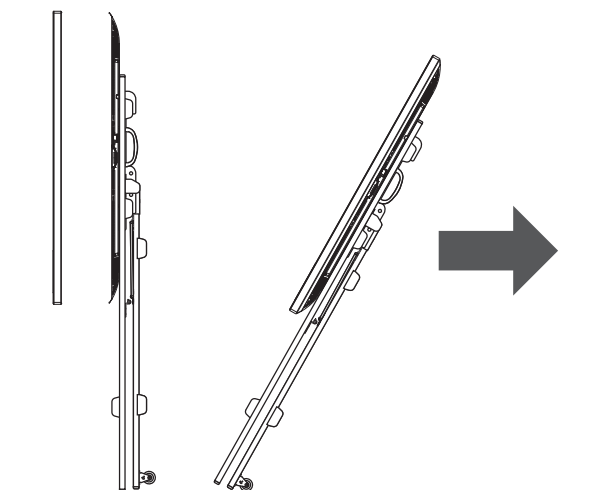
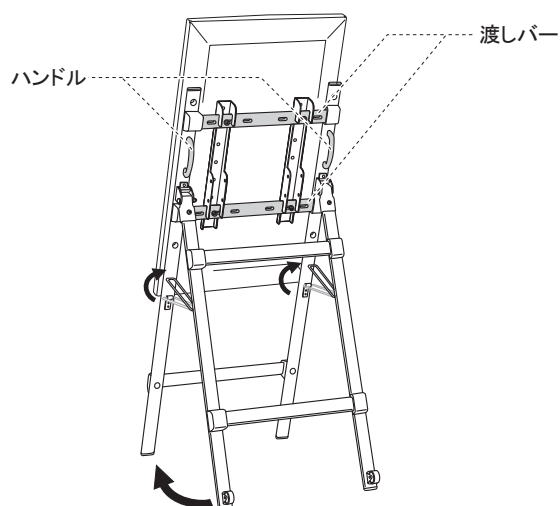


ディスプレイをタテ向きで設置する場合は、ディスプレイメーカーが指定する回転方向に従ってください。

### ■ 移動させる際は…

スタンド本体を折りたたみ、傾けることでキャスターが接地し、楽に移動させることができます。(図8)  
移動させる際は、ハンドルまたは渡しバーを持って動かしてください。

図8



本製品を移動させる際は、必ずスタンドを折りたたんでください。事故の原因となります。



スタンドを折りたたむ際は、指を挟まないよう十分注意してください。



本製品を移動又は向きを変える際は、スタンドを立てた状態で引き摺ったり回転させたりしないでください。

# 【フィリップス 4050Qシリーズ用自動再生方法】

リモコンで電源オン、または通電時に自動的にメディアプレーヤーを再生する方法

## <はじめに>

### ■内蔵メディアプレーヤーの対応フォーマット

※全てのファイルの再生を保証するものではありません。

画像形式		
画像		最大解像度
JPEG	ベースライン	1920 x 1080
	プログレッシブ	1024 x 768
PNG	ノンインターレース	1920 x 1080
	インターレース	1920 x 1080
BMP		15360 x 8640

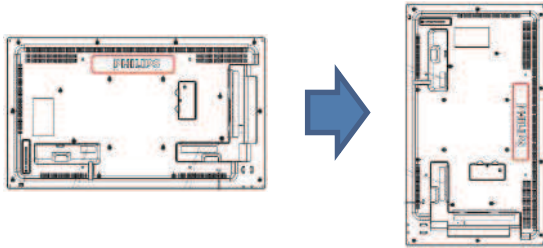
ビデオ形式		
ビデオコーデック	解像度	ビットレート
MPEG1/2	1080P@60fps	80Mbps
MPEG4	1080P@60fps	40Mbps
H.263	1080P@60fps	40Mbps
H.264	4k2k@60fps	135Mbps
H.265	4K2K@60fps	100Mbps
VP8	1920x1080@60fps	50Mbps
VP9	4K2K@60fps	100Mbps

オーディオ形式			
オーディオコーデック	サンプリングレート:	チャンネル	ビットレート
MPEG1/2/2.5 Layer3	8KHz ~ 48KHz	2	8Kbps ~ 320Kbps
MPEG1/2 Layer1	16KHz ~ 48KHz	2	32Kbps ~ 448Kbps
MPEG1/2 Layer2	16KHz ~ 48KHz	2	8Kbps ~ 384Kbps
AAC, HEAAC	8KHz ~ 48KHz	5.1	AAC-LC: 12Kbps ~ 576Kbps V1: 6Kbps ~ 288Kbps V2: 3Kbps ~ 144Kbps



## ■ディスプレイを縦置き設置する場合のご注意

★背面から見て「時計回り」に90度回転させます。

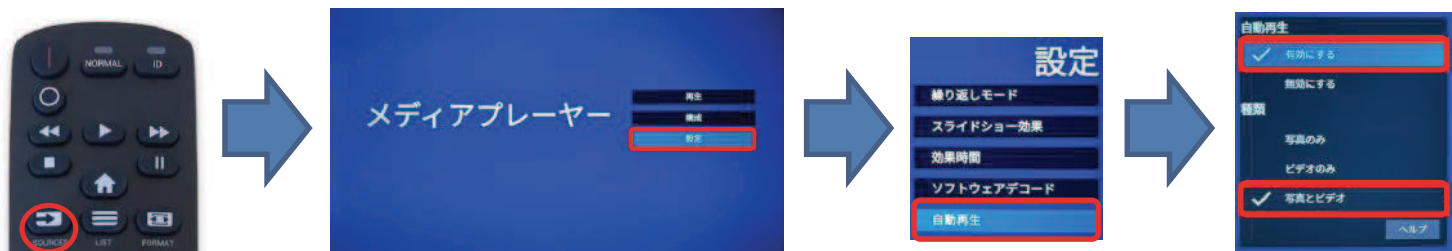


★コンテンツデータはPC上で「時計回り」に90°回転させます。



※ディスプレイ自身に縦/横の認識はありません。  
データを回転させることで、結果的に縦表示になります。

### (1) 自動再生の設定



- ①リモコンの入力ソースを押し、「メディアプレーヤー」を選択
- ②「設定」を選択
- ③「自動再生」を選択し、「有効」にチェックを入れる
- ④ファイルの種類を選ぶ 写真(静止画)のみ / ビデオ(動画)のみ / **写真とビデオ (推奨)**
- ⑤USB内に直接動画ファイルや写真ファイルをコピーしたものを準備します。

※コピーはwindwsPCで行ってください。(Macは隠しファイルが生成され誤作動の原因になります。)

※特定のファイル名、フォルダを作る必要はありません。

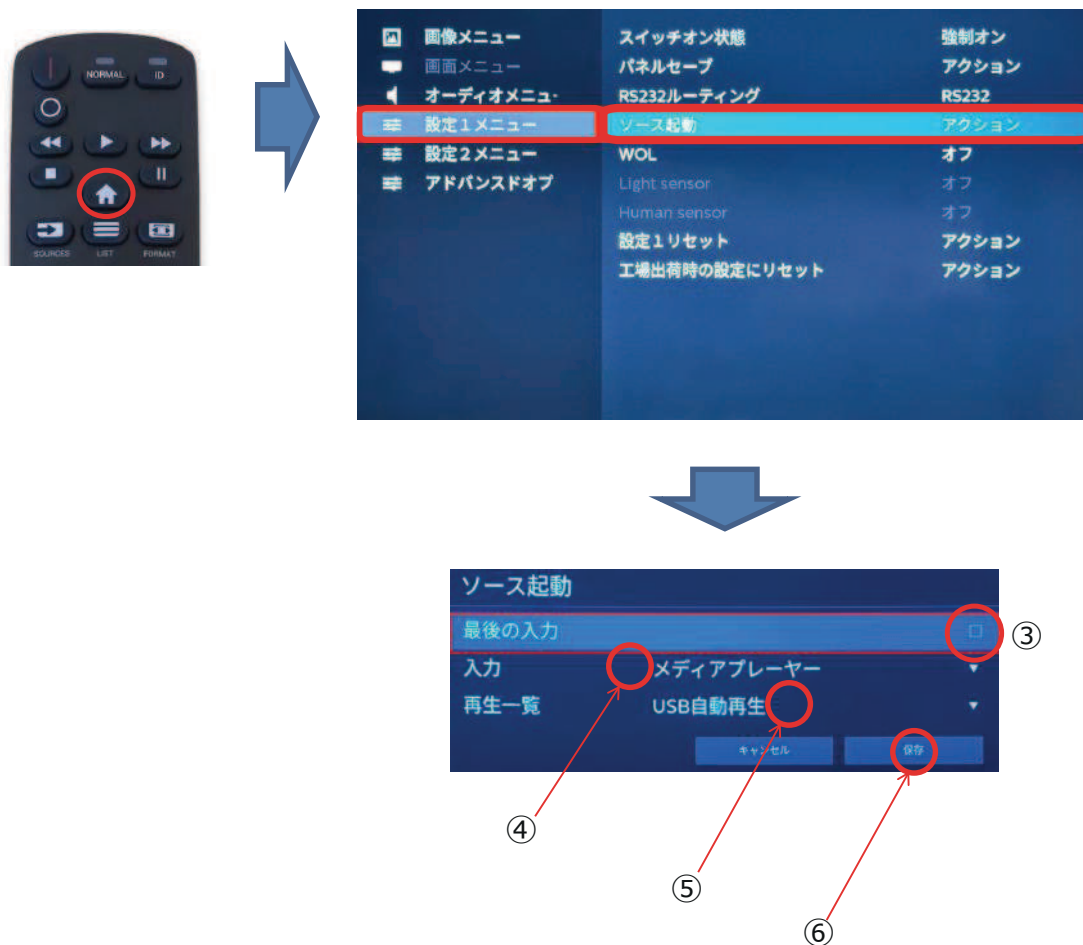
※アルファベット順に再生されます。

※「プレイリスト」と「自動再生」が両方設定されている場合、「自動再生」が優先されます。

※USBメモリを使った自動再生はできますが、Micro SDカードを使った自動再生はできません。

※「PDFプレーヤー」でPDFの自動再生はできません。

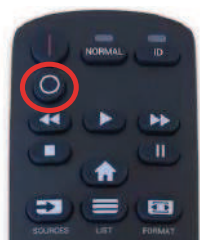
## (2) ソース起動の設定



- ① リモコンのホームボタンを押して、OSDメニューを開く
- ② 「設定1メニュー」の「ソース起動」を選択
- ③ 「最後の入力」のチェックを外す
- ④ 「入力」で「メディアプレーヤー」を選択
- ⑤ 「再生一覧」で「USB自動再生」を選択
- ⑥ 「保存」を選んで設定完了。

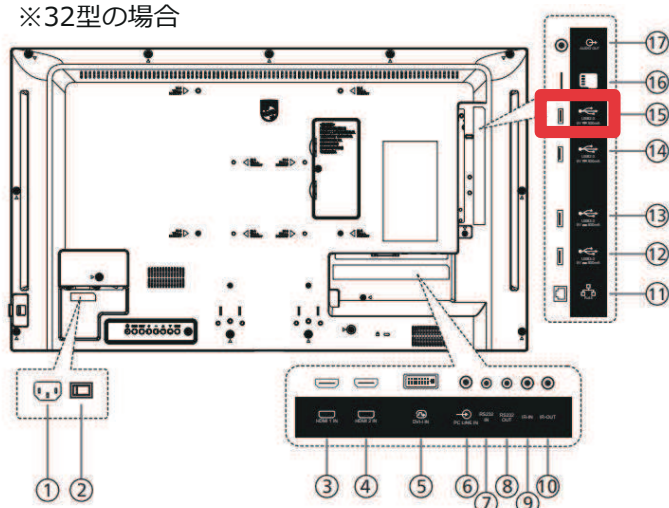
## (3) 再生準備

- ① 設定が完了したら電源をOFFにします。

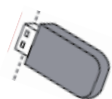
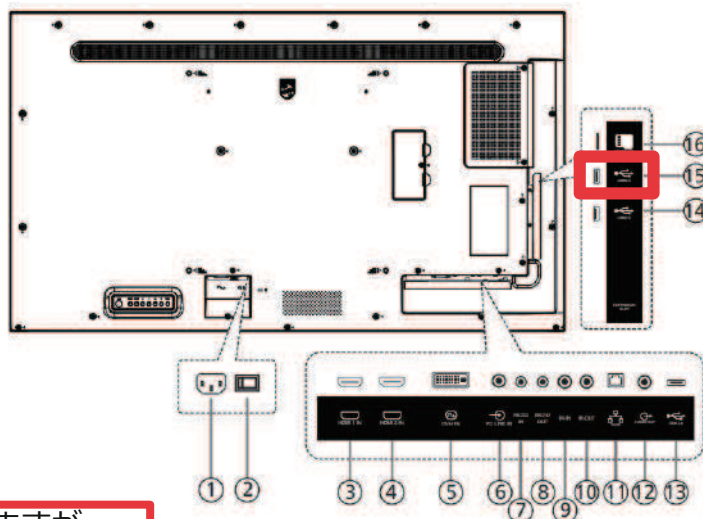


#### (4) USBメモリの接続

※32型の場合



※43/50/55型の場合



USBメモリの差し込み口が複数ありますが、一番上側のUSBメモリを差し込んでください。他の差し込み口はサポート用になります。

#### (5) 自動再生開始

①電源をONにします。



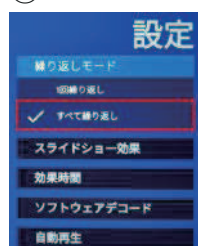
※電源ON時に初期画面になり「データがありません」と表示されることがありますが、少しお待ちください。再生が始まります。

【放映の設定（静止画コンテンツの場合）】

- ・繰り返し再生の設定 ①で選択してください。
- ・スライドショー効果の設定 ②で選択してください。
- ・スライドショー効果時間の設定 ③で選択してください。



①



②



③

